

修学のための学費サポート

新学科開講記念

壺溪塾同窓財団による「特別特待制度」

90年以上の歴史を持つ壺溪塾だからこそできる学費支援です。特待生制度は1990年に創立60周年を記念して設立された「壺溪塾同窓財団」の基金を基に始まり、以来例年学生達に経済面での支援を行ってきました。新学科設立に際し、意欲ある優秀な学生に対して授業料の全額、半額免除など、「特別特待」を多くの学生に行っていきます。詳細は別紙「特別特待制度」をご確認ください。

高等教育の修学支援制度

ご家庭の経済的事情により、学びをあきらめることがないようにと2020年に始まった国の制度です。「入学金」「授業料」の全額～3分の1の免除が行われ、さらに「給付型奨学金」が支給されます。また、令和7年度から多子世帯に対する支援制度が強化され「入学金・授業料」について、最大額が支援されます。*詳しくは「日本学生支援機構」のホームページを参照してください。

壺溪塾の専門課程は、この修学支援制度の認定校です。

支援対象者



世帯収入、資産等の要件を満たしている方

※収入などにより支援区分が分かれています



進学先で学ぶ意欲がある学生

※学業成績などの確認があります

支援金額

壺溪塾では **最大**

入学金

授業料

15万 + 59万の免除

「情報キャリア科」に入学した方の最大支援金額(修学支援I区分の場合)

世帯収入や世帯構成などにより支援金額が変わります。

支援の金額は？

① 給付型奨学金の上限額(年額)

自宅外生 約 **91** 万円
自宅生 約 **46** 万円

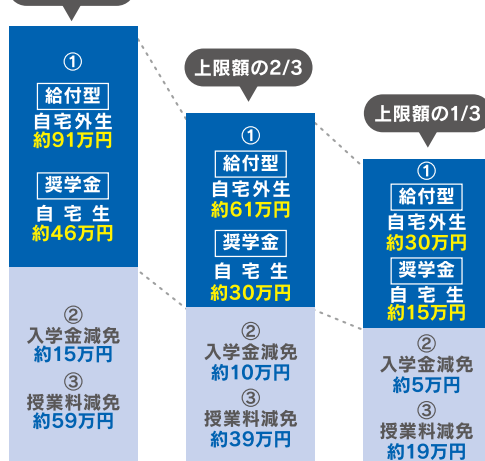
授業料等の免除・減免の上限額(年額)

② 入学金 **15** 万円
③ 授業料(学費) **59** 万円

つまり、2年制学科に進学した場合の支援総額は

自宅外生	総額	【1年次】 ①91万円+②15万円+③59万円= 165万円 【2年次】 ①91万円+③59万円= 150万円
	約 315 万円	
自宅生	総額	【1年次】 ①46万円+②15万円+③59万円= 120万円 【2年次】 ①46万円+③59万円= 105万円
	約 225 万円	

上限額(年額)



日本学生支援機構 貸与奨学金制度【第I種】 無利子・世帯収入制限が大きい

日本学生支援機構 貸与奨学金制度【第II種】 有利子・最大貸与金額が大きい

上記は全国で最も多くの人に利用されている制度です。I種II種とも貸与月額は、選択可能です。高校在学中に予約ができますが、壺溪塾の専門課程に進学してからでも申請ができます。